

## 令和元年度第1回安城市スポーツ推進審議会 議事録

日 時	令和元年5月30日（木）午後2時～午後3時30分
場 所	安城市体育館 3階 第4会議室
出席委員	野村富雄委員、内山博子委員、近藤邦子委員、加藤浩委員、石川恭委員、小森義史委員、藤野奈緒子委員、園田直哉委員
欠席委員	四ツ井初美委員、井上智統委員
事務局出席者	教育長（杉山）、生涯学習部長（近藤）、スポーツ課長（名倉）、スポーツ課長補佐（市川）、施設管理係長（岩井）、スポーツ振興係主事（小木曾）
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民憲章唱和</li> <li>2 委員の委嘱</li> <li>3 あいさつ</li> <li>4 正・副会長の選出</li> <li>5 議題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第2次スポーツ振興計画に係る平成30年度事業実績について                   <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 個別事業の実績について</li> <li>イ 目標値の達成状況について</li> </ol> </li> <li>(2) 第2次スポーツ振興計画に係る令和元年度事業計画について                   <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 重点施策及び主要取り組み事業について</li> <li>イ 予算額について</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>

### 1 市民憲章唱和

### 2 委員の委嘱

全委員へ委嘱

### 3 あいさつ

杉山教育長

### 4 正・副会長の選出

会長には野村富雄委員を、副会長には四ツ井初美委員を選出  
選出後、野村会長あいさつ

### 5 議題

(1) 第2次スポーツ振興計画に係る平成30年度事業実績について

## ア 個別事業の実績について

【事務局説明】資料P 3～6

### 【質疑応答】

(藤野委員)

昨年は例年になく酷暑により、約5千人の方々が夏の「おはよう！ふれあいラジオ体操会」の参加を取り止めたとのことだが、名古屋市和学校でも本市と同じように運動会を半日で開催したというニュースも耳にした。場合によっては命に関わることを未然に防ごうとして開催を半日にするという選択をされているが、みるスポーツやおしえるスポーツなどでスポーツ人口を今後増やそうとしていくときに、やはり「安全」であることがとても大事だと思っている。厳しい暑さに耐えられない人も増えている中で、「安全」のために今後どういう取り組みが必要と考えているかを教えていただきたい。

(スポーツ課長 名倉)

市主催の行事だと暑い時期に行うものはあまりないが、子ども会のソフトボールや中学校の予選大会など、それらを主催する団体が時期をずらしたりして開催している。こちらの今後の対応としては、その競技団体に安全の確保を促していくことなどになる。夏にスポーツをする機会が減ってくるとスポーツ人口減少の原因にもなってくるが、例えば、外でスポーツをする際に避難場所として体育館ロビーを開放するという取り組みはさせていただいている。このように、安全にスポーツをしていただくための環境を整えていこうと思っている。

(藤野委員)

何が良いかはわからないが、例えばミストやテントの設置など、屋外競技を行う際に温度を下げるような取り組みは将来的に何か考えているか。

(スポーツ課長 名倉)

熱中症対策として、夏にテントを設けるなどして日陰を作るのも一つの対策と考えている。

(小森委員)

今後もっとスポーツを盛んにしていくためには、市民が主体的に取り組んでいくことが重要だと思っている。例えば、資料3ページの「ホームチームサポーターの推進」について、今はどちらかといえば行政が主導してバスツアー等をやっているが、市民が盛り上げて市民が主体的に取り組んで活躍していけるのがより良い。今、デンソーやアイシンAWなどが社会貢献に力を入れているが、そういった流れからもっと市民を巻き込んで取り組んでいけるよう今後期待したい。

もう一点、6ページの「各種スポーツ団体の育成支援」について、一部の地域では既に団体ができているが、そういった地域団体の自発的な活動が今後増えてくるのが望ましい。

(スポーツ課長補佐 市川)

本市に「ANJOほく部みんスポクラブ」という団体があるが、スポーツ推進委員が中心となって東山中学校区の方がクラブの会員となって活動している。公民館にも全面的にご協力を頂きながら地域の中に取り込まれていることが、成功している秘訣だと思われる。

(野村委員)

他にそういった団体はあるか。

(スポーツ課長補佐 市川)

南部小・祥南小学校区にて「あんしょうスポーツクラブ」がこの5月初旬に設立された。元々はスポーツ推進委員が中心となって活動していたが、できれば南部小・祥南小学校区の子どもたちをたくさん取り込みたいというところが一番の目的になっている。今はスポーツスクールという形で、ミニテニスや卓球など子どもたちが参加しやすい種目も取り入れている。

ほく部みんスポクラブ、あんしょうスポーツクラブの他には、「まちのがっこう」や「J O A N スポーツクラブ」もある。この二つは直接県に登録して活動している。

## イ 目標値の達成状況について

【事務局説明】資料P 7～8

【質疑応答】

(園田委員)

一般市民へのアンケート調査はどのように実施しているのか。

(スポーツ課長 名倉)

2年に1回、安城市総合計画の全体のアンケートの中で成人の実施率の質問をさせていただいており、その数字をこの計画の中に取り入れている。

(園田委員)

アンケート無回答分も含めて数字が出ているのか。

(スポーツ課長 名倉)

無回答分も含めて48.2%という数字を出している。

【全委員了承】

## (2) 第2次スポーツ振興計画に係る令和元年度課事業計画について

### ア 重点施策及び主要取り組み事業について

【事務局説明】資料P 9

【質疑応答】

(藤野委員)

重点施策2の中の「ネーミングライツの募集」について詳しく教えていただきたい。

(スポーツ課長 名倉)

体育館とソフトボール場については、企業に命名をしていただき、命名権の権利収入を頂く。4月から募集を行い審査も終わって、現在は企業との契約手続きの準備を進めている。新しい名前は10年間使われる。金額として、体育館は年間最低300万円、ソフトボール場は年間最低100万円。申込受付は別々で実施した。

(野村委員)

名前はいつから変わるのか。

(スポーツ課長 名倉)

今年の10月1日から。契約ができ次第、10月1日以降の名前を公表していく予定。

(野村委員)

例えば、看板などはできるのか。

(スポーツ課長 名倉)

契約した業者の自費で設置し、撤去も同様なので、どこまでその費用をかけるかによって変わってくる。程度によって、それがスポーツ課の建物として支障があるかないかを判断して、了承していくことになる。新しい名前には企業名が入るが、条例上、安城市体育館という正式名称は残る。

(園田委員)

ラジオ体操の講師派遣授業は希望のある小中学校だけ実施しているのか。先生方に対する講習会はやっていないのか。

(スポーツ課長補佐 市川)

なかなか日的に全校回るのは調整が困難ということもあり、講師派遣授業については講師とも調整を図ったうえで、希望のある学校に派遣をさせていただいている。また、小学1年生に対しては、入学してからできるだけ早い段階でラジオ体操の教本を配布している。先生方に対しても、講習会を毎年冬場の時期に実施している。施策の中では重点の一番に掲げている事業なので、できるだけ長い目で今後も続けていきたいと思っている事業である。

(藤野委員)

市内ではどれくらいの学校がラジオ体操を取り入れているのか。

(近藤委員)

以前に比べれば、運動会等での準備体操としてラジオ体操を取り入れている学校は増えてきている。全校かどうかは定かではないが。

(スポーツ課長補佐 市川)

一時波があって、ストレッチが流行ったり学校独自のものがあったりした。そういう中で、音楽を聞いたらすぐに動けるラジオ体操というのは、50年先でもきっと生きてくるということを考えると、粛々と取り組んでいきたいと考えている。

(内山委員)

学校によって違う音楽で体操をしているところもあると聞いたことがある。

(スポーツ課長補佐 市川)

とてもいいことだと思う。それと合わせてラジオ体操もやっていただけたら嬉しい。

(石川委員)

重点施策の中で30年度の実績を見ると、ラジオ体操の事業数だけが軒並み増えている。今後もさらに増やそうと考えているのか。他の事業はあまり力を入れていないのか。

(スポーツ課長補佐 市川)

さらに増やすことに繋がるかはわからないが、ラジオ体操の指導者としてスポーツ推進委員が積極的に参加していただけるような事業にも予算をつけたりしているので、正しい

ラジオ体操を指導できるように今後も力を入れていきたい。ただ、他の事業に力を入れていないということでは決してない。

(加藤委員)

ゲートボールなどの生涯スポーツを高齢の方々がされている場で、ラジオ体操を広められるチャンスがあると思う。

(内山委員)

グラウンドゴルフの準備体操でラジオ体操を取り入れてみる。

(スポーツ課長 名倉)

本市の「まちかど講座」の科目の中にもラジオ体操があるので、ぜひお申込みいただきたい。

## イ 予算額について

【事務局説明】資料P10～12

【質疑応答】

なし

【全委員了承】

## その他

(藤野委員)

野球場でもネットが高くなったり芝を丁寧に手入れしたりと、多くのスタッフの方々が携わって気持ちよくスポーツができる場所を作っていただいていることに対して、大変感謝している。今後も、市民の皆様が使いやすい場所を提供していただき、楽しさと笑顔を支えていただけると嬉しい。

(野村委員)

今年のインカレで野球場BコートにBSO電光板を常設で取り付けるのはいかがか。

(スポーツ課長 名倉)

仮設で取り付けるものはある。

(施設管理係長 岩井)

電気設備のため常設だとむき出しになってしまい、会場として問題が生じてしまう。

(スポーツ課長 名倉)

大会打合せの際に要望していただければ仮設のものは準備できる。現状では、常設に至るまでの話がない。

以上